

平成29年度補正予算に係る個別公共事業評価
に関する資料（都市局関係事業）

平成30年2月

都 市 局

目 次

- 直轄事業等に関する個別公共事業評価結果一覧
 - ・ 平成29年度予算に向けた新規事業採択時評価について（直轄事業等） …… 2

- 平成29年度補正予算に係る個別公共事業評価書 …… 3

直轄事業等に関する個別公共事業評価結果一覧

■平成29年度予算に向けた新規事業採択時評価について(直轄事業等)

・事業評価対象の直轄事業等(直轄事業および独立行政法人等施行事業(独立行政法人等が行う補助事業を除く。))を対象としたものである。

・事業評価の実施にあたっては、貨幣換算した便益だけではなく、貨幣換算することが困難な定量的・定性的な効果や事業の実施環境等を含めて総合的に評価を行っている。

【公共事業関係費】

【都市公園等事業】

都道府県 (実施箇所)	事業名	全体事業費 (億円)	備考
神奈川県	明治記念大磯邸園(仮称)整備事業	24	平成29年11月21日の閣議決定により、「明治150年」関連施策の一環として、国と地方公共団体との連携の下、明治記念大磯邸園(仮称)を整備することが定められており、本事業は閣議決定に基づく国家的なプロジェクトであること、歴史的遺産である旧伊藤博文邸等を中心とした建物群及び緑地の一体的、有機的な保存・活用を図ること で、明治期の立憲政治の確立等に貢献した先人の業績等を次世代に遺すことができること等をふまえて評価を実施した。

・全体事業費の欄は、平成29年度補正予算額を記載している。全体事業費については、平成30年度以降に必要となる費用と合わせ、地方公共団体等と調整後に見直しを行う。

平成 2 9 年度補正予算に係る個別公共事業評価書

<評価の手法等>

事業名 ()内は 方法を示す。*	評価項目		費用便益分析以外の 主な評価項目	評価を行う過程 において使用 した資料等	担当部局
	費用便益分析				
	費用	便益			
都市公園等事業 (TCM、効用関数法、CVM)	<ul style="list-style-type: none"> ・建設費 ・維持管理費 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康、レクリエーション空間としての利用価値 ・環境の価値 ・防災の価値 ・その他の効果 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画への位置付け ・安全性の向上 ・地域の活性化 ・福祉社会への対応 ・都市環境の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・国勢調査結果 	都市局

※効果把握の方法

TCM(トラベルコスト法)

対象とする非市場財(環境資源等)を訪れて、そのレクリエーション、アメニティを利用する人々が支出する交通費などの費用と、利用のために費やす時間の機会費用を合わせた旅行費用を求めることによって、その施設によってもたらされる便益を評価する方法。

効用関数法

評価対象社会資本について、整備を行った場合と行わなかった場合の周辺世帯の持つ望ましさ(効用)の違いを貨幣価値に換算することで評価する方法。

CVM(仮想的市場評価法)

アンケート等を用いて評価対象社会資本に対する支払意思額を住民等に尋ねることで、対象とする財などの価値を金額で評価する方法。

平成29年度補正予算に係る新規事業採択時評価について
(平成30年2月時点)

【公共事業関係費】

事業区分		新規事業採択箇所数
都市公園等事業	直轄事業	1
合 計		1

平成29年度補正予算に係る新規事業採択時評価結果一覧 (平成30年2月時点)

【公共事業関係費】

【都市公園等事業】

事業名 事業主体	総事業費 (億円)	評価	担当課 (担当課長名)
明治記念大磯邸園 (仮称)整備事業 関東地方整備局	24	平成29年11月21日の閣議決定に基づき、「明治150年」関連施策の一環として、国と地方公共団体との連携の下、明治記念大磯邸園(仮称)を整備することにより、歴史的遺産である旧伊藤博文邸等を中心とした建物群及び緑地の一体的、有機的な保存・活用を図り、明治期の立憲政治の確立等に貢献した先人の業績等を次世代に遺すことができる。	都市局 公園緑地・景観課 (課長 町田 誠)

・総事業費の欄は、平成29年度補正予算額を記載している。総事業費については、平成30年度以降に必要となる費用と合わせ、地方公共団体等と調整後に見直しを行う。